

礼拝でカアバ神殿の方角を向くこと

ムスリムたちはアッラーの命令に従い、世界のどこにしようかアアバ神殿の方角を向いて礼拝をおこないます。全員が中心に向かって、同じ方向を向くのです。



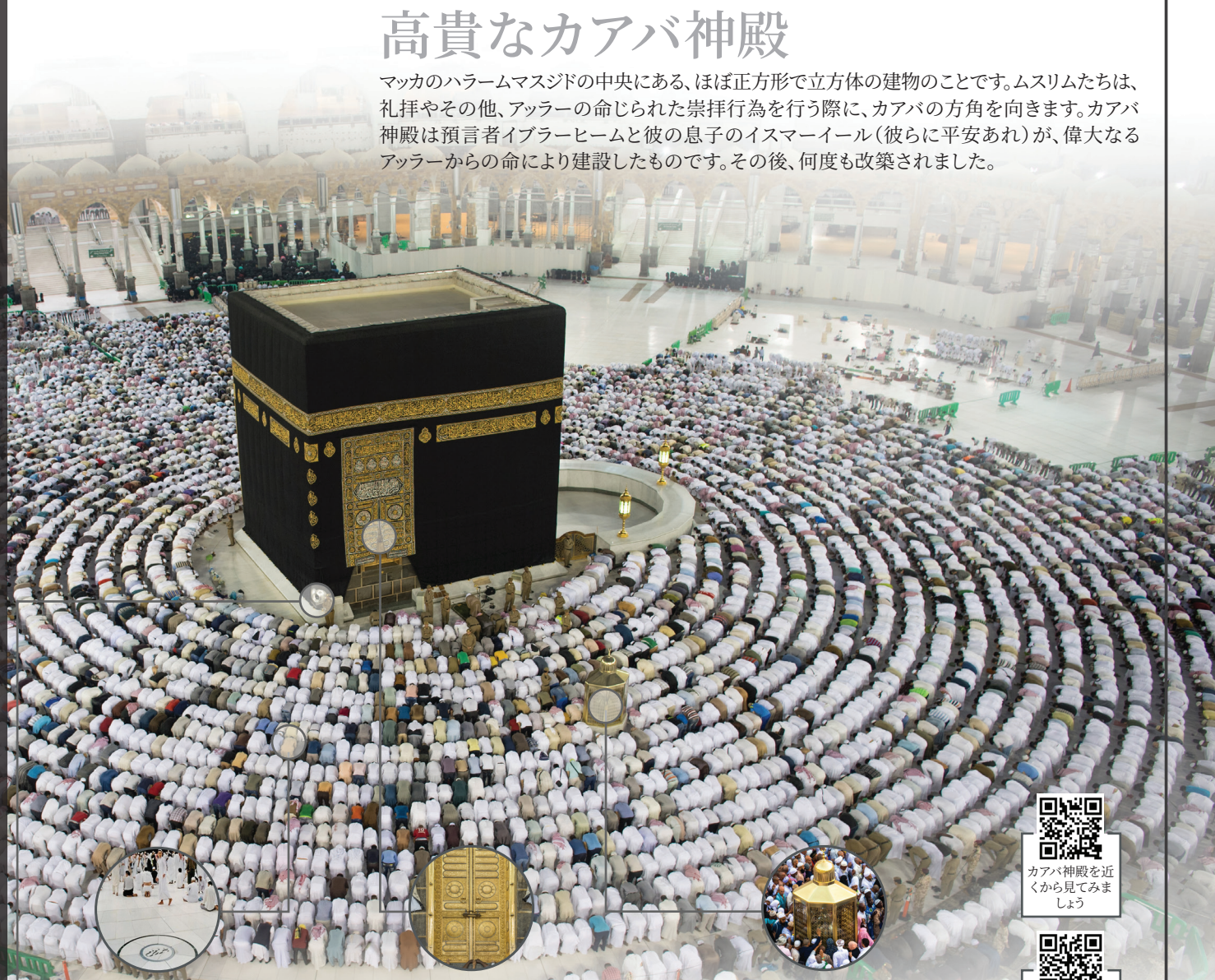
カアバ神殿を覆う掛け布

カアバ神殿を覆う布(キスワ)は、アッラーの館であるハラームマスジドへの敬意や威厳を示す象徴です。アッラーの使徒(祝福と平安あれ)が遣わされる前から、掛け布はあり、色などの違いはあったものの、人々はその習慣を続けていました。現在は、クルアーンの章句が金の刺繍で書かれている黒い絹が掛け布として使われています。そして1年に1回、巡礼の時期に新しい物に取り替えられます。



黒石

黒石はカアバ神殿の南東側の柱にあります。ムスリムにとって特別な物であり、そこから周回をはじめ、それに接吻したり触れたり、周回で通り過ぎる度に指し示したりします。同時に、その黒石には特になにかを益したり害したりする力はないとの信条も持っています。



高貴なカアバ神殿

マッカのハラームマスジドの中央にある、ほぼ正方形で立方体の建物のことです。ムスリムたちは、礼拝やその他、アッラーの命じられた崇拝行為を行う際に、カアバの方角を向きます。カアバ神殿は預言者イブラーヒームと彼の息子のイスマーイール(彼らに平安あれ)が、偉大なるアッラーからの命により建設したものです。その後、何度も改築されました。

ザムザムの井戸

ザムザムの井戸はカアバ神殿から20メートルほど離れた所にあります。ムスリムたちは、その井戸水が祝福されたものであると信じています。イブラーヒームの息子である預言者イスマーイール(平安あれ)の幼少期に、彼への神からの祝福としてそれは湧き出ました。彼ら二人に平安がありますように。

カアバ神殿の扉

カアバ神殿の扉から神殿内部に入ったり、上に乗ることができます。扉は地上2、2メートルほどのところにあります。

イブラーヒームの立ち処

それは預言者イブラーヒーム(平安あれ)が、カアバ神殿を建設するときに立っていた石のことであり、アッラーの使徒ムハンマド(祝福と平安あれ)は、カアバ神殿周回を終えた後に、その石の後方で礼拝をしていたものでした。



カアバ神殿を近くから見てみましょう



ハラームマスジドのライブ映像を観てみましょう

